

桜美林幼稚園自己点検・自己評価の結果について

2014年6月

桜美林幼稚園では、神様から授かったかけがえのない生命が、希望と喜びをもって健やかに育ってほしいと願いつつ、日々保育の業に取り組んでいます。これからも現状に甘んじることなく、更に保育内容の充実を図り、豊かで安定した環境を整える為に、これまでの歩みをつぶさに振り返り、検証する取り組みを昨年度に引き続き2013年度も実施いたしました。ここに第6回目となる自己点検・自己評価の結果をご報告させていただきます。

I. 自己点検評価

【実施内容】

保護者アンケート(第1回)	実施日	2014年1月14日～2014年1月27日
保護者アンケート(第2回)	実施日	2014年2月13日～2014年2月28日
教職員による検討 調査・検証支援	実施日	2014年4月30日～2014年7月23日 株式会社トランストラクチャ

【評価結果】

保護者の皆様からお寄せいただいた評価を総合すると、昨年度同様、今年度も概ねご満足いただけている結果であったと判断しています。

2013年度は、特に改装工事が完了した隣接の新しい「お仕事のお家」での保育、ホームページのリニューアル、父母の会各委員会の施設利用の改善、父母の会の回数の見直し等の改善策を実施しました。これらの多くは保護者の皆様からお寄せいただいたアンケート結果に基づいて教職員で検討を重ね、取り組んだ項目です。ただ、父母の会の回数を見直したことにつきましては、今回、立場の異なる皆様からさまざまのご意見を頂戴しました。今年度はこれらご意見を尊重し、新たな形で父母の会のあり方を検討したいと考えています。

これからも長年にわたって築き上げてきた良きキリスト教保育の伝統を堅持し、幼児にとって何が一番大切かの視点は決して見失うことなく、保育の業の充実に努めて参りたいと願っています。ただ、決して現状に甘んじることなく、保護者の皆様とのコミュニケーションのあり方、父母の会諸活動のあり方、専門教育の充実等、常に我々が取り組まなくてはならない課題と向き合いつつ、お寄せいただいたご意見を真摯に受け止め、更に改善を図るよう努力する所存です。これからもどうぞ宜しくお願い致します。

【桜美林幼稚園に入園された理由について】

項目	強く そう思う	そう思う	どちら でもない	そう思わ ない	全く そう思わ ない	未回答	合計
保育方針に賛同できたため	19	14	1	0	0	0	34
保育内容がよいため	19	13	2	0	0	0	34
行事・イベントが適度に行われているため	11	17	4	1	0	1	34
キリスト教の精神に基づいた教育が行われているため	13	12	7	1	0	1	34
モンテッソーリ教育(おしごとの部屋)が行われているため	19	13	2	0	0	0	34
みんなの日(縦割り教育)が行われているため	16	16	2	0	0	0	34
専門教育(英語、体育、顕微鏡観察、昆虫観察)が行われているため	16	15	3	0	0	0	34
保育時間が適切であるため	3	11	17	3	0	0	34
預かり保育があるため	3	15	12	2	2	0	34
教職員の人柄がよいため	25	6	2	0	0	1	34
子どもに対する教職員の数が十分であるため	22	7	5	0	0	0	34
教職員と保護者のコミュニケーションが適切に行われているため	19	11	3	0	0	1	34
園の設備・施設がよいため	9	18	7	0	0	0	34
自然に恵まれているため	18	12	4	0	0	0	34
安全に配慮された環境づくりがされているため	11	19	4	0	0	0	34
園の規模が適切であるため	11	17	6	0	0	0	34
送迎バスがあるため	15	13	6	0	0	0	34
家からの距離が近い	9	10	7	4	4	0	34
職場との距離が近い	0	4	13	3	7	7	34
登園の送り迎えに都合がよい立地であるため	4	15	10	2	3	0	34
入園料・保育料が適切であるため	5	14	13	1	0	1	34
近所での評判がよいため	7	11	13	1	1	1	34
給食ではなく、お弁当であるため	5	9	16	2	2	0	34
兄弟が同じ園に通っているため	5	5	10	1	4	9	34
知り合いの子どもが同じ園に通っているため	1	6	17	1	3	6	34
保護者の出身園であるため	3	1	10	1	8	11	34
父母の会、委員会、ボランティア等保護者同士のコミュニケーションの場があるため	2	7	22	2	0	1	34

【桜美林幼稚園の運営について】

項目	強く そう思う	そう思う	どちら でもない	そう思わ ない	全く そう思わ ない	未回答	合計
お子さまは園で大切にされていると思いますか。	68	32	2	0	0	0	102
園内は安全対策が十分とられていると思いますか。	42	56	4	0	0	0	102
交通安全教室、各種避難引取訓練は安全を高めることに役立っていますか。	44	57	1	0	0	0	102
交通安全・地震・火災・防犯などについて、園は、学園、警察署、消防署と協力して安全を高めていると感じますか。	44	54	3	0	0	1	102
保育中の病気(発熱や嘔吐など)や怪我などの処置は十分なされていますか。	55	43	0	1	1	2	102
施設内で感染症が発生した場合には、迅速な処置がなされていますか。	52	45	2	1	0	2	102
アレルギーの対応について説明を受けましたか。	67	0	0	0	24	11	102
アレルギーについての相談をすることができますか。	54	32	2	0	2	12	102
園のアレルギーの対応は十分なされていますか。	47	37	4	0	0	14	102
「預かり保育」を利用していますか。	76	0	0	0	25	1	102
前の問で、「1」を選択された方に伺います。 「預かり保育」は安心して預けられる体制になっていますか。	61	14	0	1	0	26	102
担当の教職員は、お子さまの良いところや個性を認めていますか。	65	31	5	1	0	0	102
園の生活において、身近な自然や社会と十分に関わっていますか。	56	44	2	0	0	0	102
園では、お子さまの発達に合わせた豊かな感性を育む活動・遊び等が行われていますか。	59	39	3	1	0	0	102
園には、お子さまの発達や意欲を促すような遊具・教材が十分に用意されていますか。	56	42	3	1	0	0	102
園では、集団生活を通し、社会性やルールを守る態度を育てようとしていますか。	63	38	1	0	0	0	102
園では、あいさつなど、基本的な生活習慣が身につくように指導していますか。	57	43	2	0	0	0	102
園の生活において、自分のことは自分でするなど、自立への指導がなされていますか。	62	36	3	0	0	1	102
園での行事は楽しく、子どもの成長に役立つものになっていますか。	69	32	1	0	0	0	102
お子さまが園の中で落ち着いて過ごせる雰囲気がありますか。	65	32	5	0	0	0	102
お子さまは登園するのを楽しみにし、充実した園生活を過ごしていますか。	69	27	6	0	0	0	102
キリスト教の精神に基づいた教育に満足していますか。	54	34	13	1	0	0	102
モンテッソーリ教育(おしごとのおうち)に満足していますか。	75	26	1	0	0	0	102
みんなの日(縦割り教育)に満足していますか。	58	37	5	2	0	0	102
専門教育(英語、体育、顕微鏡観察、昆虫観察)に満足していますか。	54	39	6	2	1	0	102
お子さまの様子について、保護者への連絡対応は十分にされていますか。	39	41	8	3	0	11	102
保育中の発熱や怪我などの処置、保護者への連絡対応については十分ですか。	43	41	4	1	1	12	102
施設内で感染症が発生した場合には、必要に応じてその状況について連絡がありましたか。	57	30	2	0	0	13	102

項目	強く そう思う	そう思う	どちら でもない	そう思わ ない	全く そう思わ ない	未回答	合計
園からのたよりやその他の方法で、日々のお子さまの様子や気持ちを知ることができますか。	38	33	16	3	0	12	102
園からのたよりやその他の方法で、指導計画やその内容を知ることができますか。	44	39	7	1	0	11	102
園からのたよりで、必要に応じた感染症や健康のお知らせは役に立っていますか。	43	43	5	0	0	11	102
子育てなどについて、家庭と園に信頼関係があると思いますか。	44	40	5	2	0	11	102
要望や不満は園に対して言いやすいですか。	28	42	16	3	2	11	102
お子さまの気持ちや子育てなどについて、教職員と話したり、相談することができますか。	38	46	6	1	0	11	102
園は要望や不満などにきちんと対応していますか。	37	40	8	5	0	12	102
保護者が大切に考えていることについて、教職員は話を聞く姿勢がありますか。	42	40	8	1	0	11	102
園運営の基本的な考え方について、説明を受けたことがありますか。	40	42	8	0	0	12	102
園の運営方針や保育に関する基本的な考え方は賛同できるものですか。	45	42	4	0	0	11	102
園の指導計画やその内容は適切なものであると感じますか。	47	40	4	0	0	11	102
園の方針・計画に沿った教育が行われていると感じますか。	50	38	3	0	0	11	102
教職員は、保護者やお子さまに関するプライバシーを守っていますか。	46	36	7	1	1	11	102
保育参観、親子触れ合いの会、ボランティア活動などは有意義なものとなっていますか。	50	38	2	0	1	11	102
月一回開かれる父母の会は有意義な内容ですか。	33	35	19	1	1	13	102
父母の会の開催頻度は適切ですか。	23	32	25	5	4	13	102
行事日程の設定は、保護者の状況に十分配慮されていますか。	29	44	14	1	2	12	102
委員会活動（運営・バザー・運動会・ヤング・卒対）に参加したことがありますか。	74	0	0	0	15	13	102
「モンテッソーリ教育（おしごとのおうち）」について、施設の新設により改善されたと感じますか。	76	17	5	1	0	3	102
父母会室について、2階に設けたことにより改善されたと感じますか。	52	25	18	1	1	5	102
父母会について、回数の削減により改善されたと感じますか。	26	33	23	7	7	6	102
園のホームページについて、リニューアルにより改善されたと感じますか。	28	37	26	0	1	10	102
お弁当を楽しみながら食べていると思いますか。	45	49	7	1	0	0	102
毎日のお弁当作りは大変ですか。	6	26	25	28	17	0	102
時には給食があっても良いと思いますか。	23	24	25	11	19	0	102
現在のバス乗降場所や園バスの体制・対応は適切に行われていますか。	47	27	18	4	1	5	102
当園を総合的にみて満足されていますか。	68	31	2	0	0	1	102

II. 財務の状況

2013年度は、帰属収入合計約8425万円に対し、消費支出の合計は、約1億3911万円となりました。帰属収入とは、保育料、入園金、国庫からの補助金など、昨年度1年間に本園が受け取った金額の合計です。また、消費支出とは、教職員の人件費、消耗品費など、昨年度1年間に本園が支払った、本園を運営していくのに不可欠なさまざまな支出の合計です。差し引き約5,486万円の支出超過となりました。なお、帰属収入のうち約185万円を園の将来の発展に備えるための基本金に組み入れました。

消費支出の中には、アネックス改装や先般導入した新たな通園バスの減価償却費など、大きな環境改善の費用が含まれています。財政は厳しい状況ですが、園児の保育環境をより良くするためのこのような支出は、他の項目の節約を図る不断の努力により何とか捻出しなければならないものと考えています。幼子を育む業は、神様から負託された重要な使命であると認識し、これからも更なる改善を図る所存です。

【帰属収入の部】

学生生徒等納付金	50,974,000
授業料	36,886,000
入学金	6,435,000
施設設備資金	990,000
教育充実費	6,663,000
手数料	270,000
入学検定料	270,000
証明手数料	0
寄付金	171,314
特別寄付金	42,000
一般寄付金	126,314
現物寄付金	3,000
補助金	27,345,155
国庫補助金	0
地方公共団体補助金	27,345,155
東京都私学財団補助金	0
資産運用収入	364,942
第3号基本金引当資産運用収入	0
受取利息・配当金	108,994
施設設備利用料	255,948
資産売却差額	0
土地売却差額	0
事業収入	3,381,680
補助活動収入	803,600
受託事業収入	0
公開講座収入	0
免許状更新講習料収入	0
その他の事業収入	2,578,080
雑収入	1,750,850
入学案内書頒布収入	30,500
その他の雑収入	1,720,350
帰属収入の部合計	84,257,941

【消費支出の部】

人件費	97,112,059
教員人件費	83,940,751
職員人件費	11,728,983
役員報酬	0
退職金	0
退職給与引当金繰入額	1,442,325
教育研究費	16,589,974
消耗品費	2,622,371
光熱水費	1,602,583
旅費交通費	2,486
奨学費	0
減価償却費	5,792,870
通信運搬費	392,711
印刷製本費	187,640
出版物費	149,223
修繕費	1,886,397
損害保険料	230,794
賃借料	246,160
公租公課	43,830
諸会費	178,772
会議費	348
報酬・委託・手数料	2,998,680
広報費	0
雑費	255,109
管理経費	25,408,080
消耗品費	1,697,815
光熱水費	281,080
旅費交通費	14,403
減価償却費	4,959,930
通信運搬費	68,831
印刷製本費	421,307
出版物費	2,952
修繕費	2,993,502
建物取壊し費	0
損害保険料	278,652
賃借料	20,176
公租公課	402,189
諸会費	33,692
会議費	353
報酬・委託・手数料	13,902,619
広報費	44,582
雑費	69,184
福利費	106,860
渉外費	38,850
補助活動支出	71,103
借入金等利息	8,400
借入金利息	8,400
学校債利息	0
資産処分差額	0
徴収不能額	0
消費支出の部合計	139,118,513

Ⅲ. 2013 年度運営の状況

2013 年度も主の御守りの中で、また多くの皆様の祈りに支えられて、大きな事故もなく概ね計画通りに活動を展開し、無事に保育を終えることができましたことを先ずは心からの感謝を申し上げます。

キリスト教精神を大切に守り、これまで築き上げてきたキリスト教保育を基盤として、2013 年度は、特に①未就園児クラスの充実、②モンテッソーリ教育の拡充、③大学・地域との連携の深化、④保護者対象「聖書に親しむ会」開講といった取組みを新たに展開し、事業の発展に努めました。

また、教諭一人ひとりが現状に甘んじることなく、個々のスキルをアップさせる為、積極的に園外の研修に参加するとともに、その知識経験を共有できる機会を園内で継続的に実施することができた 1 年でもあったと感じています。

我が国においては、少子化問題、待機児童の増加に伴う対策の急務等、幼児教育を取り巻く社会情勢は厳しい時代を迎えています。たとえどのような時代にあっても、幼児期の教育は人間形成に最も大切な時期の教育であることを全教職員が深く認識し、神さまからいただいたかけがえのない命と賜物を豊かに育み、将来、国際人としてしっかり立ち続けることのできる強さと優しさを育む業に取り組んで参りたいと願っています。

ここに以下のとおり 2013 年度の活動について報告申し上げます。

1. 園児数

収容定員	入園児	卒園児	在園児		年少	年中	年長	未就園児
160	46	49	男児	66	23	18	25	22
			女児	60	15	22	23	28
			計	126	38	40	48	50

※入園児は、2013 年 4 月 10 日入園 ※卒園児は、2014 年 3 月 13 日卒園

※在園児及び未就園児は、2013 年 5 月 1 日現在

2. 教職員数

園長	教頭	専任教諭	非常勤教諭	契約職員	パート職員	養護(兼務)	バス(委託)
1	1	7	10	1	4	2	3

※専任教諭には、休職教諭(産休・育休)(2013 年 5 月 1 日～2014 年 3 月 31 日)1 名を含む

※非常勤教諭には、体育講師 3 名、英語講師 1 名を含む

※養護教諭は、大学保健衛生支援室兼務 ※バス運転手は、株式会社ナルドからの派遣

3. 2013年度に新たに取組んだ主な事業

(1) 未就園児クラスの充実

2013年度から全専任教諭が関わるようになり、クラス数、実施回数を増やして展開した。保育の内容が充実したばかりでなく、保護者の理解を深めていただける機会ともなり、その結果、約6割の参加児の入園につながる結果となった。

(2) モンテッソーリ教育の充実

これまで一クラスを小グループに分けての活動が余儀なくされていたが、2012年度に取得した隣接建物を改修したことにより十分なスペースが確保できるようになった。そこで、2013年度からは教具を充実させるとともにクラス担任も保育に加わりクラス全員で本園の特色であるモンテッソーリ教育を展開できるようになった。専任教諭が活動に加わることになったことに伴い、毎月1回園内研修を実施し具体的な指導法を学ぶ機会を提供すると共に夏休み期間には、学外の研修会に参加させ理解を深める機会を提供できた。

(3) 大学・地域との連携

- ・大学硬式野球部のコーチ、選手の指導により、秋に年長児対象の野球教室を開講。
- ・保育専修コースが新たに取組んだ園児対象プログラム、親子対象プログラムに園児、保護者が参加し、プログラムが今後より充実したものになるようその発展に協力。
- ・地域連携室の協力を得て、2013年度も境川クリーンアップ作戦に絵画を出展。また、FC 町田ゼルビアのコーチの指導によるサッカー教室は、年中児にも枠組みを広げ、春・秋に開講した。

(4) 保護者対象「聖書に親しむ会」の開講

- ・保護者にキリスト教精神を少しでも理解いただけるよう、父母の会時の礼拝だけでなく、2013年度から毎月1回「聖書に親しむ会」を開講。希望者のみの参加ではあったが毎回約20名の参加者を得て充実した内容のプログラムを展開することができた。

4. 通常保育における活動

(1) キリスト教精神を礎とする保育の堅持

園児対象の礼拝は従来どおり大切に守り、また教職員においてもまずは全員で礼拝を献げる中で一日の保育を始まることを継続した。2013年度は更に保護者に対してキリスト教精神を理解いただけるよう、毎月1回「聖書に親しむ会」を開講した。希望者のみの参加ではあったが、それでも毎回約20名の参加者を得て充実した内容のプログラムを展開することができた。

(2) 縦割り保育の導入

「みんなの日」と題して、これまでと同様に1学期、2学期は4回、3学期は2回、園児を縦割りに4グループに分け、復活の丘での活動、園庭での活動、製作の活動、読み聞かせの活動を展開した。学年別の活動ではなく異年齢での活動となる為、年下に対するいたわりの心やまた年長に対する尊敬や憧れの心が育まれ、幅広い人間関係も培うことができた。

(3) 自然の大切さ、命の尊さを理解する心の養育

幼児期は実体験を通じた経験を重ねることで内面が育っていくため、自然に親しむ機会や動植物と触れ合う機会を多く保育活動に取り入れ実施した。

- ・親子遠足：年長児：4月 大地沢青少年センター
 年中児：4月 小山田緑地
 年少児：4月 小山田緑地
- ・1泊宿泊保育：年長児：7月（1泊2日）大地沢青少年センター
- ・昆虫観察：年長児：9月 復活の丘
- ・秋の遠足：全園児：10月 小山田緑地
- ・芋掘り：全園児：10月 町田市鈴木様農地
- ・お別れ遠足：年長児：3月 多摩動物公園
- ・稲の栽培：年長児：6月3日（田植え）～10月9日（稲刈り）
- ・野菜の栽培：年少児：7月ミニトマト 年中児：11月こまつな
- ・どうぶつ村体験：全園児：1月
- ・その他の体験：園庭でのうさぎの飼育

(4) 言葉の発達と表現力の習得

幼児期は生活そのものが言語の発達と密接にかかわっている。母国語の正しい理解と習得が後の知的発達に大きく影響を及ぼすため、桜美林幼稚園では、正しい母国語のある環境を整え、各年齢の理解に合った保育計画を立て確かな学力につながることを目指して、学びの芽生えを育む努力を2013年度も実践した。

(5) 感性と表現力を養う教育

①観劇：全園児：11月21日 かわせみ座公演 園舎2階ホール

②絵本読み聞かせの会：年長児：1月16日 年中児・年少児1月17日

絵本読み聞かせの専門家であられるおつきゆきえ氏による絵本の朗読をクラス毎に聞く。各年齢に適した子どもの感性を育む芸術的な質の高い内容の絵本を複数選定し実施。

(6) 相互扶助と自主・自立精神の養育

クラスでの交わり、縦割り保育、一泊宿泊保育等々で様々な人とのかかわりを経験することにより、仲間意識が芽生え、環境に愛着を持ち、互いに思いやる心や、大切に思う心といった豊かな人間性が育つ。そのことを常に心がけて 2013 年度も育む業に取り組むことができた。

(7) 食事、睡眠、清潔、排泄、衣服（着替えを含む）等の基本的な生活習慣の習得

生活習慣は、愛情あるかかわりと日々の繰り返しによって、体に摺り込まれていく。一例として、着てきた服を脱いで自分でたたみ、スモックに着替えるという当たり前の活動ではあるが、それを毎日繰り返すことによって年長児になる頃には言われなくても一人でできるようになる。また各家庭には月 1 回：育児に役立つ保健ニュースと食育ニュースを配布した。

(8) 家庭との信頼関係の強化

父母の会：年 6 回、懇談会：年 2 回、各種保育ボランティア活動、各種委員会活動、保育参観：年 2 回、家庭訪問：年 1 回、個人面談：年 1 回、体育参観：年 1 回（年長）その他、子育ての悩みや疑問のある家庭と個別に相談の機会を持った。

5. 学園（中学・高校・大学）との連携の深化

2013 年度計画に掲げた以下の①～⑦の項目については、概ね計画通り実施することができた。

①健康福祉学群「保育コース」学生の教育実習、講義の研究・検証の機会を提供

- ・桜美林大学保育専修学生教育実習：春学期：6 月 秋学期：11 月 各 2 名
- ・日本語を履修している外国人留学生の幼稚園一日体験活動：6 月 20 名参加
- ・健康福祉学群主催保育フェア：1 月（保育専修の学生による園児参加型発表会）
- ・健康福祉学群主催「どんぐりひろば」：10 月 1 月（親子体験プログラム）

②大学教員による昆虫観察、顕微鏡観察、体育の保育活動を継続

- ・昆虫観察：年長児：9 月 復活の丘
- ・顕微鏡観察：年長児：2 月 理化学館
- ・FC 町田ゼルビアによるサッカー教室：年長児 5 月 年中児：10 月
2013 年度は年中児にも枠を広げて開催することができた。
- ・桜美林大学硬式野球部のコーチ、選手による野球教室：年長児：10 月
- ・年長児の体育：学園の体育館を使用し、専門講師による指導（週 1 回、年 19 回）
（年中児・年少児は園舎ホールを使用して開講）

③芸術文化学群「演劇コース」学生の舞台操作研究の場を提供

- ・クリスマス聖誕劇の照明：演劇専修コースの学生による照明、ミキシング

④将来、保育士や幼稚園教諭を目指す中学生、高校生の職業体験学習の受け入れ

- ・小山田中学校生徒による職場体験受け入れ：9月 2名

⑤大学教員による保護者対象プログラムの実施

- ・秋の芸術鑑賞会：小澤由佳先生（生涯学習センター講師）による地域貢献コンサート開催：11月 以徳館2階ホール

⑥エクステンションセンター講座「読み聞かせの会」受講者に対し実践の場を提供

- ・読み聞かせの会：森田樹優先生（生涯学習センター講師）の講座受講生による実践研修として発表の場を提供：7月 12月

⑦地域連携のプロジェクトである「境川クリーンアップ作戦」への参加

- ・境川クリーンアップ作戦への協力 7月

6. 未就園児クラスの充実

2013年度から全専任教諭が関わるようになり、クラス数、実施回数を増やして展開した。保育の内容が充実したばかりでなく、保護者の理解を深めていただける機会ともなり、約6割の参加児の入園につながる結果となった。

7. 自己点検・自己評価の継続

園内研修会を2回実施し2012年度末に実施した保護者アンケートを下に、園としての課題点を洗い出し、今後どのように取り組むべきか改革点を話し合った。また専任教諭がそれぞれの自己目標項目を立て、その達成度を教頭から評価を受ける評価制度を導入した。

以 上